

令和4年10月吉日

八王子市内企業経営者 各位

「八王子市イノベーション調査・2022年調査」へのご協力をお願い

日頃より、八王子市の産業振興にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて「八王子市イノベーション調査」は、八王子市が策定中の産業イノベーションプラン(令和5年3月公表予定)の検証・評価をするため、令和12年度までの期間において、2年に1度実施することとしております。イノベーションに関する定量的項目および定性的項目を収集することで、政策の企画、立案、推進及び評価に必要な基礎資料を得ることを目的としています。また、事業者の皆様におかれましては、本調査において集計した結果を確認することが可能となり、調査期間中の動向を継続的に把握することが可能となります。そのことにより、今後の事業展開の視座にもなることと存じます。

本調査では、全国イノベーション調査の項目のうち、特に八王子市において本調査を実施するに望ましい内容を検討して展開すると共に、独自の調査項目も織り込んでいます。また、本調査の対象となる事業者は、八王子市内の事業者から選定しております。

なお、本調査の業務は、多摩大学総合研究所及び株式会社帝国データバンクに委託して実施しております。御理解の程よろしくお願い申し上げます。

【本調査にあたっての注意事項】

- 本調査におきましては、機密厳守を徹底しており、調査結果は統計的に処理し、個票データは絶対に公表されることはありません。また、個人情報については一切公表せず、分析後の調査票は、厳重に管理いたします。
- ご回答は本調査票に直接ご記入の上、**令和4年11月4日(金)まで**に、同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送いただきますようお願いいたします。
- ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【調査に関する問い合わせ】

多摩大学総合研究所 担当：長島・久保田
TEL :042-337-7299 FAX:042-337-7297
株式会社 帝国データバンク プロダクトデザイン部 官公庁ソリューション課
担当：安部・川崎
TEL :03-5775-3161 FAX:03-5775-3168

【委託事業に関する問合せ先】

八王子市 産業振興部 産業振興推進課
TEL :042-620-7379 FAX:042-627-5951
E-mail :b092000@city.hachioji.tokyo.jp

八王子市イノベーション調査・2022年調査

貴社名	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

貴社の業種についてご回答ください。(○は主なもの1つ)

1. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	2. 建設業	3. 製造業
4. 情報通信業	5. 運輸業, 郵便業	6. 卸売業, 小売業
7. 不動産業, 物品賃貸業	8. 学術研究, 専門・技術サービス業	9. 宿泊業, 飲食サービス業
10. 生活関連サービス業, 娯楽業	11. その他()	

【イノベーション関連項目】

1. 貴社が経営成果^{※1}を得るために採用した戦略(2019年から2021年までの3年間)
 (a)から(j)の戦略について、その重要度として該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	採用した			採用
	重要度・高	重要度・中	重要度・小	しなかった
(a) 既存の製品・サービスの改良	①	②	③	④
(b) 新しい製品・サービスの導入	①	②	③	④
(c) 製品・サービスの低価格	①	②	③	④
(d) 製品・サービスの高品質	①	②	③	④
(e) 広範囲に揃えられた製品群・サービス群	①	②	③	④
(f) 少数の主要製品・サービス	①	②	③	④
(g) 既存顧客の満足度	①	②	③	④
(h) 新規顧客の開拓	①	②	③	④
(i) 標準化された製品・サービス	①	②	③	④
(j) 顧客個別のソリューション(製品・サービス)	①	②	③	④

※1「経営成果」とは、企業規模(売上高や運用)の成長、利益率や資本収益率、マーケット・シェア(市場占有率)等の企業活動がもたらす経営上の成果をいいます。

2. 貴社の製品又はサービスに関する競争環境に影響を与えた要因(2019年から2021年までの3年間)(a)から(h)について、該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	影響あり			影響なし
	影響度・高	影響度・中	影響度・小	
(a) 製品・サービスがすぐに陳腐化した	①	②	③	④
(b) 将来的な技術発展の予測が難しかった	①	②	③	④
(c) 競合他社の製品・サービスにより代替された	①	②	③	④
(d) 新規競合他社の参入により自社の市場地位が脅かされた	①	②	③	④
(e) 競合他社の行動の予測が難しかった	①	②	③	④
(f) 需要の変化の予測が難しかった	①	②	③	④
(g) 国際競争が激しかった	①	②	③	④
(h) 顧客離れが生じる価格の上昇があった	①	②	③	④

3. 貴社が行った知的財産権に関する活動(2019年から2021年までの3年間)(a)から(k)の活動について、該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	はい	いいえ
(a) 特許を出願した	①	②
(b) 意匠登録した	①	②
(c) 商標登録した	①	②
(d) 著作権を主張した(制作した著作物について自社の権利として他者に対して明示した)	①	②
(e) 営業秘密を使用した(事業活動に有用な技術又は営業上の情報について、秘密として管理され公然と知られないようにすることにより自社が法的保護を受けられるようにした)	①	②
(f) 自社の知的財産権(特許権、意匠権、商標権、著作権、営業秘密等)を他者に実践許諾(ライセンスアウト)した	①	②
(g) 自社の知的財産権を他者に売却(又は譲渡)した	①	②
(h) 自社の知的財産権を他者と交換(クロスライセンス、パテントプール形成)した	①	②
(i) 民間企業又は個人から知的財産権を購入した又は実施許諾を受けた(ライセンスイン)	①	②
(j) 大学・他の高等教育機関から知的財産権を購入した又は実施許諾を受けた(ライセンスイン)	①	②
(k) 公的研究機関から知的財産権を購入した又は実施許諾を受けた(ライセンスイン)	①	②

4. 貴社が知識を獲得するために利用した情報伝達経路(2019年から2021年までの3年間)
 (a)から(h)の情報伝達経路について、その重要度として該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	採用した			採用 しなかった
	重要度・高	重要度・中	重要度・小	
(a) 大規模会議(コンファレンス)、見本市、展示会	①	②	③	④
(b) 科学誌・技術誌、業界出版物(経済紙、業界紙を含む)	①	②	③	④
(c) 専門職団体、業界団体	①	②	③	④
(d) 公開特許	①	②	③	④
(e) 標準規格に関する文書	①	②	③	④
(f) ソーシャル・ネットワーク、ウェブベース・プラットフォーム、クラウドソーシング	①	②	③	④
(g) オープンプラットフォーム、オープン・ソース・ソフトウェア	①	②	③	④
(h) リバース・エンジニアリング	①	②	③	④

5. 貴社が市場に導入した新しいまたは改善した製品又はサービスの有無^{※2}(2019年から2021年までの3年間)(a)及び(b)について、該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※2 本調査における「新しい又は改善した製品(サービス)」とは、新しい又は改善した製品(サービス)であって、貴社の以前の製品(サービス)とかなり異なり、かつ市場に導入されているものをいいます。また、これは貴社にとって新しい製品(サービス)を指し、他社が既に導入している製品(サービス)と同様のものを貴社が導入した場合も、それが貴社の以前の製品(サービス)とかなり異なっていれば、「新しい又は改善した製品(サービス)」に該当します。

	有り	無し
(a) 市場に導入した新しいまたは改善した製品(デジタル製品を含む)	①	②
(b) 市場に導入した新しいまたは改善したサービス(デジタル・サービスを含む)	①	②

6. 新しい又は改善した製品又はサービスの新規性と売上高(2021年における1年間)

5. の(a)又は(b)で「有り」と回答された製品又はサービス全てについて、次の(x) から(z)に該当するものを全て選んで□に✓をつけた上で、2021年の総売上高に占める割合をそれぞれ記入してください。

	該当有り (2019年から 2021年までの3年 間)	売上(収入)金額の割合 (2021年における1年間)
(x) 以前にいかなる競合他社も提供したことがない 自社が市場に導入した新しい又は改善した製品・サービス	<input type="checkbox"/> →	□□□%
(y) 既に競合他社が提供している製品・サービスと同一又はよく類似した 自社が市場に導入した新しい又は改善した製品・サービス	<input type="checkbox"/> →	□□□%
(z) 上記(x)と(y)以外の貴社によるその他の製品・サービス全て(変更がなかったもの、僅かに変更されたもの、他社から購入して転売したもの)	(z) = 100 - {(x) +(y)}	□□□%
	2021年の 総売上高	100%

7. 貴社が自社内に導入した新しいまたは改善したビジネス・プロセスの有無(2019年から2021年までの3年間)(a)について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

	有り	無し
(a) 自社内に導入した新しいまたは改善したビジネス・プロセス	①	②

8. 貴社が「新しい又は改善した製品又はサービス」の導入又は「新しい又は改善したビジネス・プロセス」の導入の実現に向けて実行した活動の内容(2019年から2021年の3年間)(a)から(g)について、該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	はい	いいえ
(a) エンジニアリング、デザイン、又は他の創造的業務(製品・サービスの形状・外見・使い勝手の変更など)を実行した	①	②
(b) マーケティング又はブランド・エクイティ活動(製品・サービスの導入のための市場調査、宣伝・広告など)を実行した	①	②
(c) 知的財産関連活動を実行した	①	②
(d) 従業員への教育訓練活動を実行した	①	②
(e) ソフトウェア開発又はデータベース活動を実行した	①	②
(f) 建物、機器、機械又はその他の有形資材を取得した又はリースした	①	②
(g) 研究開発活動(自社内実行、社外研究開発支出のいずれも含む)を実行した	①	②

9. 貴社がイノベーション活動のために他社や他の機関と行った協力の有無(2019年から2021年までの3年間)(a)及び(b)について、該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	有り	無し
(a) 研究開発活動を協力して実行した	①	②
(b) 研究開発活動を除く他のイノベーションのための活動を協力して実施した	①	②

10. 貴社においてイノベーション活動を開始しようとする意思決定を阻害した要因、又は実際にイノベーション活動の実行を阻害した要因(2019年から2021年までの3年間)(a)から(j)について、該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	阻害された			阻害され
	影響度・高	影響度・中	影響度・小	なかった
(a) 自己資金の不足	①	②	③	④
(b) 金融機関や投資家による融資・投資の不足	①	②	③	④
(c) 助成金・補助金の獲得の困難	①	②	③	④
(d) イノベーション活動にかかる高すぎるコスト	①	②	③	④
(e) 自社内における能力のある従業員の不足	①	②	③	④
(f) 他社や他の機関等の協力相手の不足	①	②	③	④
(g) 社外にある知識を利用する権利・機会の不足	①	②	③	④
(h) 自社のアイデアに対する需要の不確実性	①	②	③	④
(i) 市場における過度に激しい競争	①	②	③	④
(j) 自社内における異なる優先事項(イノベーション活動よりもほかに優先すべきことがあった)	①	②	③	④

【事業者自身に関連する質問】

1. 貴社は八王子市が実施している融資あっ旋制度について知っていましたか。以下について該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

	知っていた	知らなかった
八王子市が実施している融資あっ旋制度	①	②

2. 貴社は八王子市が実施している融資あっ旋制度を利用したことがありますか(2019年から2021年までの3年間)。以下について該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

	利用した	利用していない
八王子市が実施している融資あっ旋制度	①	②

3. 2.について、「利用した」と答えた方について、何の目的で利用しましたか。以下について該当する番号をすべて選んで○をつけてください。その他の場合には、具体的にご記入ください。

① 運転資金	② 新商品の製造・開発	③ 機械・設備の購入・更新
④ 店舗移転・新店舗の取得	⑤ 既存の事業所の改修	⑥ 車両購入
⑦ その他 ()		

アンケートについては以上です。ご協力ありがとうございました。

本アンケート用紙を、11月4日(金)までに、同封の返信用封筒(切手不要)に封入し、投函願います。